

# リフレッシュクール工法

## スレート仕様 S R - 2 工法

あまり劣化していない状態で若干の補強と遮熱性能を要求する場合

工 程	材料名・配合・作業内容	塗 布 量 施 工 面 積	回数	工程間隔 ( 2 0 )
素地調整及び 高圧水洗浄	ゴミ・埃・錆部・脆弱部を除去 後、水洗浄し十分乾燥させる。	-	-	-
プライマー塗布	刷毛・ローラー・スプレー等で 全面に浸透するよう塗布する。  アスファルトシーラー	0.2 ~ 0.5 kg / m <sup>2</sup>  3.2 ~ 8.0 m <sup>2</sup> / 缶	1 ~ 2	2 時間以上 3 日以内
フックボルト処理	フックボルト廻りを刷毛等で 塗布する。  エポマイルド シンナー希釈なし	0.1 ~ 0.2 kg / m <sup>2</sup>  8.0 ~ 1.6 0 m <sup>2</sup> / 缶	1	2 時間以上
上塗材塗布	刷毛・ローラー・スプレー等で 均一に2回に分けて、全面に 塗布する。  クールトップ# 1 0 0 0 N 清水希釈 0 ~ 5 %	0.5 kg / m <sup>2</sup>  4.0 m <sup>2</sup> / 缶	2	3 時間以上

## 《注 意 事 項》

- 1 . ゴミ・埃・錆部・脆弱部は十分に除去し、必要に応じて補修等を行って下さい。  
(スレートの破損・ひび割れが著しい場合は、張替えて下さい。その他のひび割れは防水テープ又は、ウレタンコーキング等で処理して下さい。)
- 2 . アスファルトシーラーは、スレートに十分浸透するよう、塗布して下さい。
- 3 . 気温 5 以下、湿度 8 5 %以上、及び施工後 6 時間以内に降雨・結露等のおそれがある場合は、塗装を避けて下さい。
- 4 . 材料は冷暗所に保管し、水性塗料は凍結に注意して下さい。

## 《使 用 材 料》

品 名	内 容	容 量	危険物
アスファルトシーラー	湿気硬化型ウレタン樹脂系	1 6 kg / 缶	第四類
エポマイルド	弱溶剤形自己架橋エポキシ樹脂さび止め塗料	1 6 kg / 缶	第四類
クールトップ# 1 0 0 0 N	変性アクリルエマルジョン系	2 0 kg / 缶	-